

コード	403020101
記入日	H24.5.31

事業評価表【途中評価】

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	川田 麻記

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	特産品開発支援事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40302	基本事業名称	特産品の開発	目コード	3
事務事業コード	4030201	事務事業名称	特産品開発支援事業費	細目コード	896
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則 新上五島町物産展等参加団体出店助成金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町内の物産業者 (対象2)		(対象指標1) 約100社 (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(評価年度実績)				
*****		◆【職員参加の観光物産展等】合計6回 (延7名) …関東（東京都）物産展1回 (2名) /九州（福岡）物産展1回（1名） /長崎県内 物産展3回（3名） 商談会1回（1名） ◆【物産展等参加団体出店助成金 助成実績】合計28件…関東（東京都・千葉県・横浜市）物産展7回（7社）商談会1回（5社） /関西（大阪市近郊）物産展1回（1社） /福岡県 物産展4回（8社） /長崎県内 物産展5回（7社）				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・各地の観光・物産展及び商談会に地元業者と一緒に参加することにより「新上五島町」の知名度向上を図るとともに、特産品の販路拡大による地元業者の所得増加及び島内経済の活性化を図ることを目的とする。 また、町の知名度を上げることにより、観光客の誘客を図り、島内観光消費額の増加、小売業・宿泊業者などの観光・物産に従事する業者の所得向上による地域活性化を目的とする。		① (達成率分析) 計画していた事業の中止等もあったが、新規のイベント等への参加も柔軟に対応でき、計画していた回数を実施できた。				
		② (達成率分析) 当初の計画は、福岡県を中心とした九州内の物産展への助成を予定していたが、首都圏での物産展等への助成申請が増えたため、計画よりも件数は減少したが、出店業者に対してはより効果的な助成ができた。				
		① (達成率分析) 平成23年度は平成22年度よりも観光客数が若干増えており、観光消費額（土産代）も微増したが目標は達成できなかった。				
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	66	65	59	6	6				
	② 件	163	149	121	42	28				
成果指標	① 千円	3,267,313	3,237,987	2,607,136	660,177	630,851				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	133,358	133,231	110,913	22,445	22,318				
直接事業費 A	千円	10,858	10,731	8,013	2,845	2,718				
人件費 B	千円	122,500	122,500	102,900	19,600	19,600				
内訳	従事職員数	人	17.5	17.5	14.7	2.8	2.8			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	1,300	600	600	700				
	その他	千円								
一般財源	千円	132,058	132,631	110,313	21,745	22,318				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	産業振興のためには、特産品等の販路拡大等が必須であることから、継続して事業を実施する必要がある。また、「食」への関心が高まるなか、消費者の地域の食材や特産品に対するニーズは続くことが予想される。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	物産展などで、商品の販売だけではなく観光情報発信も併せて行うことで、新上五島町の包括的なPRと知名度向上に大きく寄与している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	町内に潜在している資源を掘り起こし、魅力的な商品の開発・磨き上げに努めるほか、商品特性を活かしたマーケティングにより成果を向上させることができる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	現在は、職員旅費や物産展等参加団体出店助成金などで島外でのPRや情報提供に努めており、知名度向上や販路拡大などの成果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	現在は、町特産品に関する情報提供や問い合わせへの対応を職員が行っているが、必要最低限の費用と業務量で実施しているため、今後の物産振興を推進するためにも継続した事業展開が必要である。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	平成23年度はバイヤー等への特産品情報発信を積極的に行い、特産品の販路開拓に努めた。併せて物産業者の島外での販売促進活動を支援するため、物産展等参加団体出店助成金の積極的な活用を促した。また、観光物産協会と連携し、町の特産品情報を網羅したパンフレットを作成し、バイヤーや消費者の購買意欲を喚起するようPRを行っている。
	今後、課題に向けた改善策	更なる物産振興を図るため、商品情報の収集と持続的な情報発信を行っていく必要がある。また、観光物産協会や各業者との連携を密にし、キャンペーン等のPR活動を通して新上五島町全体の知名度向上と特産品の販路拡大を図る。 併せて、町内物産業者の生産力・営業力の向上を目指し、物産展等参加団体出店助成金等での支援を行う。

2次評価	島内産業を育成し、特産品等の販路拡大及び消費拡大に向けての支援は有効である。事業の成果により、地元産業が成長し自主独立した事業展開が可能となった場合は、新たな施策へ転換し、効率化を図るべきである。
-------------	--

3次評価	
住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。